

◆計画

区・局の目標（何をめざすのか）

人と人がつながり支え合うことにより、福島区がお子さんからお年寄りまで誰にとってもこれからも住み続けたいまちになることをめざす。

区・局の使命（どのような役割を担うのか）

次の4つをめざすべき姿として重点的に取り組む。

- 1 人と人がつながり支え合うまちづくり 2 次世代を元気に育むまちづくり 3 にぎわいと魅力あふれるまちづくり 4 区民が満足・納得できる区役所づくり

令和3年度 区・局運営の基本的な考え方（区・局長の方針）

福島区は、近年大型マンションが増加し、それに伴い人口増加が顕著である。特に若年層の流入が激しく、その一方で古くから長く住み続けている方も多いため、価値観や行政に対するニーズが多様化してきている現状がある。しかし、大災害が発生した際には世代等を超えてお互いに協力して助け合う必要がある。福島区では身近な地域でのつながりや世代間のつながりをはじめ、あらゆる場面でつながりというものをキーワードに区民と区役所がつながり、福島区がお子さんからお年寄りまでこれからも住み続けたいまちとなるよう取り組む。

重点的に取り組む主な経営課題（様式2）

経営課題の概要	主な戦略
<p>【経営課題1 人と人がつながり支え合うまちづくり】 福祉や防災といった身近な課題に気付き日常から顔見知りになりつながることの大切さを感じてもらえるような事業を展開する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域力の強化による防災、減災、安全対策の推進</li> <li>・地域の福祉活動</li> <li>・地域活動協議会等の活動活性化に向けた支援</li> </ul>
<p>主な具体的取組（3年度予算額）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の防災活動・訓練への支援(2,452千円)</li> <li>・中学生の被災地訪問事業(2,241千円)</li> <li>・地域のつながりづくりへの支援(15,224千円)</li> <li>・地域活動協議会の活動の活性化に向けた支援(33,753千円)</li> </ul>	
経営課題の概要	主な戦略
<p>【経営課題2 次世代を元気に育むまちづくり】 子育て支援を充実させ、安心して楽しく子育てができるまちをめざす。 保護者・区民等の声をくみ取りながら施策を実施する分権型教育行政を進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期から就学前の子どもを持つ親に対しての子育て支援</li> <li>・「ニア・イズ・ベター」に基づく分権型教育行政の効果的な推進</li> </ul>
<p>主な具体的取組（3年度予算額）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期から就学前の子どもを持つ親に対しての子育て支援(1,968千円)</li> <li>・小・中学生の基礎学力向上事業及び体力向上事業(14,710千円)</li> </ul>	
経営課題の概要	主な戦略
<p>【経営課題3 にぎわいと魅力あふれるまちづくり】 地域の独自性を軸に、地域団体や企業等と連携協力して、魅力のあるイベント等を実施し、活気とにぎわいがあふれるとともに、うるおいとみどりのある美しいまちを実現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・にぎわいと魅力あふれるまちづくり</li> <li>・花とみどりのまちづくり</li> </ul>
<p>主な具体的取組（3年度予算額）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島区のにぎわいづくりのための事業(21,742千円)</li> <li>・花とみどりのまちづくり事業(543千円)</li> </ul>	

経営課題の概要	主な戦略
<p>【経営課題4 区民が満足・納得できる区役所づくり】</p> <p>区政運営において、区民の参加・参画をより一層推進し、これまで以上に区民が参画しているという実感が得られるような施策を展開する。</p> <p>区役所が区民をはじめ来庁者にとって快適で満足できる場所となるよう取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民が区政運営に参加・参画する仕組みの更なる充実</li> <li>・区民サービスの向上と効率的な区行政の運営</li> <li>・広報・情報発信の充実</li> </ul>
<p>主な具体的取組（3年度予算額）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・区政会議の効果的な運営(396千円)</li> <li>・区民に身近な総合行政の拠点としての区役所づくり(200千円)</li> <li>・区政情報の発信(13,528千円)</li> </ul>	

「市政改革プラン3.0」に基づく取組等（様式3）	
主な取組項目	取組内容
—	—

## ◆自己評価

### 1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

新型コロナウイルス感染症の影響により予定どおり取組が進められなかった事業や、目標達成できなかった戦略もあるが、感染者数が比較的減少してきているタイミングに実施時期を調整するほか、感染防止策を加味した取組や、ICTを活用するなど、コロナ禍でも可能な限り事業実施に努めた。

一方で、感染収束の見通しがなかなか立たず、施策の方向性を見直す必要も生じている。特ににぎわいづくりに関する事業は、集客人数の増加ではなく、区の魅力の満足度など、より「質」に重点を置いた目標設定のもと事業に取り組んでいきたい。

その他、区役所窓口での対応改善を図り、格付け調査で「★★：民間の窓口サービスの平均的なレベルを上回るレベル」の目標が達成できた。今後も区民の満足度が向上するような区政運営に努めたい。

### 解決すべき課題と今後の改善方向

新型コロナウイルス感染症の感染防止策に配慮しながら日常の取組を進めるとともに、他区における成功事例の情報を収集・参考にすることや、地域の方々や企業・団体等の意見を伺うことなどを通して新たな取組の検討を進める。

また、新たな福島区将来ビジョンにおいて各施策の課題をより明確に整理したことから一層PDCAの徹底を図るほか、区政会議での議論の活性化や窓口におけるサービスアップなど、各施策の基盤となる区政運営の改善にも努める。